マクベス（1948）

MACBETH

メディア 映画
ジャンル ドラマ　文芸
製作国　イギリス／アメリカ
色彩　B&W
時間　107分
初公開日 1952/03/06
公開情報 リパブリック＝ＮＣＣ

【解説】

　演劇活動を行っていた時から、シェークスピアの自己流の解釈は作家ウェルズの終生のテーマであった。これはそんな彼の、最初のシェークスピア戯曲の映画化。既にハリウッドの異端児として悪名を極めていた彼。ハリウッドを追われての次作「オーソン・ウェルズの オセロ」は、ヨーロッパを転々と５年の歳月をかけ（その間にあの「第三の男」に出演したりして）ジプシー撮影をすることになるが、本作はパブリック・スタジオで僅か２３日間で撮了した恐るべき低予算作品。西部劇のオープン・セットに張りぼての装置――といったあんばいで、しかし、それが非常に前衛的に見える。演出法もかなり野心的で、メリハリの効いた極端な構図の視覚的ショックも尚更だが、音声――とくに台詞の群唱などに、アングラ劇の先取的精神が覗く。三人の魔女の予言を信じたマクベス（ウェルズ）はスコットランド王を殺し、王子マルコムの亡命で王位奪取に成功する。が、将軍バンクオの息子が王位を継ぐとの新たな予言に、将軍をも殺害。と、将軍の亡霊が夜ごと現われるようになり、マクベス夫人（Ｊ・ノーラン）を狂気に陥らせ自死させる。そこへマルコムの軍が反撃に出、マクベス勢は敗退。再びの魔女の予言で、女から生まれた者に傷つけられることはない、と聞き、安心したマクベスは自ら戦場に向かい剣を揮うが、早産の母の死の直後生まれた――と言う敵将マクダフの前にひるんで斬死した……。怪奇趣味満点の原作のおどろおどろしさが黒白の画面に暗躍する、夢魔的な映画体験を堪能できるだろうウェルズの問題作だ。

【クレジット】

監督	オーソン・ウェルズ	Orson Welles
製作	オーソン・ウェルズ	Orson Welles
原作	ウィリアム・シェイクスピア	William Shakespeare
脚本	オーソン・ウェルズ	Orson Welles
撮影	ジョン・Ｌ・ラッセル	John L. Russel
音楽	ジャック・イベール	Jacques Ibert
出演	オーソン・ウェルズ	Orson Welles
	ジャネット・ノーラン	Jeanette Nolan
	ダン・オハーリヒー	Dan O'Herlihy
	ロディ・マクドウォール	Roddy McDowall
	エドガー・バリア	Edgar Barrier
	アラン・ネイピア	Alan Napier
	アースキン・サンフォード	Erskine Sanford

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.